

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2015年6月1日 141号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



第三回パクー稚魚放流式典特集

放流式典に集ったゲストたちと、レダ基地のスタッフ。放流式を終えてにこやかに。2015年5月8日、パラグアイ、レダ



大きく健康に育ったパクーを放流。



放流するインディヘナたち。



岬の先端で放流が始まる。



挨拶する中田所長

第三回稚魚放流式典を成功裏に終える！

五月八日、レダ基地において、第三回パクー稚魚放流式典が成功裏に催されました。以下は、式典に参加した、当法人の中田欣宏代表理事による報告です。

成功の鍵は、第一に天候です。天気予報は目まぐるしく変わり、当日の朝周辺地域に大雨が降ったものの、レダ基地は快適な一日になりました。昨年到现在も、祈りの奇跡を感じました。こうして、ゲストたちを乗せた五機のセスナが次々に無事着陸。さらにエスペランサ村からは百名余りの生徒たちが到着し、若々しい雰囲気になりました。生徒たちが式典および一連の行事に参加できたのは、彼らの意識を高める上でも大変よかったです。

十時、式典が開始。司会はエバリスト氏が担当し、初めにプロジェクト創設者の文先生を偲び、黙祷を捧げました。国家斉唱に続き、参加者への謝意とともに主催者挨拶として、現地財団会長及びレダ基地所長中田実氏が「文先生は世界の食糧問題の解決を願い、生涯をかけて水産事業に投入されました。その願いを受けて、この地を理想の福地にすることが私たちの願いです。パンタナールにおいても魚は貴重な生活の資源であり糧でもあります。この魚を保護し育てていくことこそパンタナールの保護につながり、この地域の持続的発展がもたらされると強い確信を持ち、パクーの養殖事業に取り組んできました。その結果、五万匹の稚魚を放流し、アルトパラグアイ州の環境保全に貢献でき、光栄です。今後もパンタナール保護と地域活性化のため精進してゆきます」とさらなる決意を語りました。

続いてアスンシオン大学獣医学部長ホアン・カバジェロ博士が「これからは魚を獲ることを教えるのではなく、増やすことを教える必要があります。パラグアイ川流域では魚が急速に減少しています。将来を考えれば、食糧としての魚の養殖は大変に貴重です」と強調されました。また同行した水産学科長エドガー・バルブエナ博士も「私も全面的協力を惜しみません。パラグアイ川の魚は重要な食糧資源です」と語られました。(2面に続く)



チャマココの民族舞踊を披露



グスターボ氏とエスペランサの生徒

また、先住民を代表して、エスペランサ村のバルボーサ酋長が「南北米の皆様にご心から感謝申し上げます。皆様のもとに一つ、こうして私にも話す場を与えてくれたことに感謝します。五万匹の放流は大変重要です。ありがとうございます。事故や急病など困難な時、いつもレダの人たちが病院（オリンポ市など）に連れて行ってくれ、私たちを助けてくれました。また今日はこの場にたくさんの方の住民の招待をいただき、深く感謝いたします」と挨拶しました。次はエンターテインメントの時間となり、チャ



挨拶するバルボーサ酋長



若者が多く集った放流式典（セミナーハウス）



大きくなって、帰っておいで！1000Kmの旅に出る魚もいる。

マココ族エスペランサ学校の生徒たちによる伝統舞踊と民族舞踊がそれぞれ披露され、拍手喝采でした。またグスターボ氏による演武が生徒たちと共に行われ、日頃の成果を披露しました。ここで式典は終了し、全員歩いて放流会場へ移動。放流会場はレダ基地の突端部分に設置され、本流と支流が出合う絶好の場所です。佐野氏の司会で、まずマグノ教授が経過報告と、意義について「今回のパクーは、私も驚く成長ぶりです、五百グラム前後、もはや稚魚ではなく、幼魚といふべき大きさです。さらにこれから冬に向かい水温が下がると、天敵の大きな魚の活動が低下するため、生存率がかなり高くなると思われまます。五万匹の放流は、減りつつある水産資源にとって、また漁業で生計を立て



パクーにほれほれする韓国のゲスト



楽しいアサード（焼肉）の祝宴

調査を行います。印のある魚を釣った人が申告すれば賞品を授与します」と話されました。この後五人一組で、グループごとに放流を行いました。そして食堂に移動し、正午より昼食会。屋外ではアサード（焼肉）が振舞われました。歓談の後、日本の支援者たちからいただいたお土産を、シン氏より贈呈され、貴賓の皆様一人一人。大変喜ばれていました。ご支援をくださった皆様、改めて、本当にありがとうございます。（中田欣宏記）



親魚になる立派なパクーを見てください

ている流域住民として、大変ありがたいものです。パラグアイ川支流の豊富な餌場でさらに大きくなり、やがて本流に出て行けるので、本当にここは最適の場所です。今後は八百グラム以上になった幼魚に印をつけ、移動状況など生態

レダ基地で堤防建設工事

道路事情、天候、パラグアイ川の水位などを見ながら時機を待っていた堤防工事が、今月初めより昼夜突貫で行われていきます。まずはゲストハウス前から造成を始め、レダ基地を囲むように延伸して行きます。また、レダ基地にある



2015年5月12日

機材でも工事の可能な部分は、私たちのスタッフから建設します。洪水への恒久対策として、堤防の建設に支援をくださった皆様に、改めて深く感謝いたします。

第十回環境問題研究会を開催

五月十日（日）午後一時半より、川崎市の大山街道ふるさと館会議室において、第十回環境問題学習会を開催し、43

名が参加しました。



講演する陽捷行先生(5月10日)

今回は講師として、北里大学名誉教授であられ、公益財団法人農業・環境・健康研究所、農業大学校長を務める、陽捷行先生（みなみかつゆき）先生を迎えました。講演テーマは、陽先生が生涯をかけて取り組まれた「健康心・土壌・人間・環境問題」です。



熱心に聴講した参加者たち(大山街道ふるさと館3階)

哲学、倫理、科学、実践、等々を含む、深大なテーマを、やさしく噛み砕いて、ユーモアもまじえながら語られ、あつと言う間に時間が過ぎ去りました。質疑応答の時間も含めて、活性化した雰囲気の中で当初の予定時刻を超過して終了しました。以下に、講義メモの一部を記します。

まず健康の定義から。健康とは「体が健やかで、心が康らかであること。」



先住民コミュニティ、イスパランサ村から、感謝のメッセージ

ここには、Mental, Physical, Socialのみならず、Spiritualの意味も含まれる。健康のために、人は大地や大気に倫理観をもつこと！地球は生きています！21世紀には農学、環境科学、医学が連携した統合知が必要である。土壌は地表わずか18cmだけ。その土壌の健康＝人の健康である。「聖賢ヒポクラテスの言葉に倣って）土壌を知らない人が、どうして人の健康について理解できようか。」（小田記）



先住民生徒の中には、村の学校で学業に励んで奨学金を獲得し、海外に留学して医師の資格を取得、帰郷後に医師として活躍している者もいます。

感謝、感謝、感謝。

- ①子供たちに、希望をくれてありがとう。
- ②わたくしたちに、仕事をくれてありがとう。
- ③村に、安心をくれてありがとう。

レダで働かれるみなさん、
支援して下さるみなさん、
本当にありがとうございます。

第八回パンタナール一日特別研修会のご案内

講師陣はさらに力を入れ、新たな内容をたくさん盛り込みました。左記の通り開催いたします。

日時：二〇一五年八月一日（土）

十時三十分～十七時（十時より受付）

会場：大山街道ふるさと館二階（川崎市高津区溝口三十二二三） JR武蔵溝ノ口駅、および東急田園都市線溝の口駅から徒歩七分

参加費：二〇〇〇円（昼食を含む）当日受付にてお支払いください。申込〆切：七月二十九日

★提唱者の思想と私たちレダ開拓史

★ここまで来た！地球環境問題

★パラグアイ・レダにおける理想郷建設

南北米福地開発協会 理事 飯野貞夫

地球の緑を守る会 代表理事 高津啓洋

南北米福地開発協会 理事 柴沼邦彦

参加申込は、①氏名・フリガナ②年齢③性別 ④住所⑤電話番号⑥メール⑦紹介者を明記の上、

FAX：〇四四一八二九二八二〇、または

メール：office@asd-nsa.jpへお願いします。



参加者の感想

初めて参加しましたが、思いが適った一日でした。苛酷な地を、よくぞここまでなされたと感じました。（男性・64歳）

とても深い内容があり、先駆者たちの苦労があったというのを知ることができました。レダで活動した青年の話はとても率直で、同じ青年として興味深く、とても刺激になりました。（男性・22歳）

第十五回国際協力青年奉仕隊員募集



青年指導者たちが、国や文化を越えた奉仕活動を通して、世界と人間と自然への理解を深め、学びの機会を得られるように企画いたしました。

期間 二〇一五年八月二十五日～九月十日

活動地 パラグアイ、パンタナール地域

活動内容 学校の建設、植樹、文化交流。レダにて奉仕活動、自然探訪、学習会、乗馬、釣り体験など。

参加資格 18歳以上、概ね25歳までの健康な男女

参加条件 ①小論文(四百字以内)を六月末までに当協会へ提出。テーマは「参加の動機及び将来の夢」

②小論文に各自の紹介者の推薦文を添付すること。

採用者発表 直接該当者に連絡いたします。

募集人数 十名前後(日本から)

参加費用 十五万円 成田・アスンシオン往復航空券は主催者が支援致します。

お問合せは、下記事務局、戸石。小田まで。



国際協力青年奉仕隊派遣のため、ご支援をお願い致します！

郵便口座

記号 一〇二八〇

番号 六一三四九七五一

南北米福地開発協会

会員種別

♠ 会員一口1000円/月 ※口数は申込者が申告

♣ 特別会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告

♣ 法人会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 **00290-5-113072**

加入者名：シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。

また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 [http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf)

Word形式 [http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.docx](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.docx)

一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.jp

ホームページ：http://www.asd-nsa.jp